

ま え が き

ここに、平成22年度版「統計東久留米」を刊行いたします。

この統計書は、東久留米市の人口・産業経済・財政・教育・文化・市民生活等の各分野にわたる基本的な統計資料を、できる限り総合的に集録し、市の現況の推移を表したものです。

我が国は、少子・高齢化の進行により人口減少社会へ変貌しつつあり、高度情報化・国際化の急速な進展など社会情勢が大きく変化する中で、統計の果たす役割はますます重要なものとなっております。

この統計書が、今後の行政運営の基礎資料として、また、市民の皆さんはじめ関係機関の方々に広く活用され、市政の発展に資することができれば幸いです。

編集にあたりましては、各方面からのご指導・ご助言を得て内容の整備・改善に努めました。ご存じのように3月11日に発生した東日本大震災の影響により、一部資料の収集が不能となっております。

あらためて、震災により尊い生命を失われた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆さまへのご支援をお約束し、自衛隊をはじめ、数多くの救援・復興支援に携わっておられる皆さまのご無事とご活躍を祈念いたします。

おわりに、本書の刊行にあたり、貴重な資料の提供や格別のご協力をいただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成23年3月

東久留米市長 馬場 一彦

凡 例

1. この統計書は、各官公庁及び民間団体から提供された資料、既に発刊されている各種統計報告書並びに庁内各課から収集した資料を集録した。
2. この統計書は、必要に応じて最近5ヶ年（年度）～10ヶ年（年度）程度の数値を掲げることで、経年による変化及び比較対象が容易になるよう編集した。
3. 表中「年次・〇〇年」とあるのは暦年（1月1日から12月31日まで）を示し、「〇〇年度」とあるのは会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）を示す。また、「〇月〇日」とあるのは、その期日を示す。
4. 単位未満の数値は、原則として四捨五入したため、総計と内訳の合計が一致しない場合がある。
5. 符号の用法は次による。
 - 「—」 皆無又は該当数値のないもの
 - 「…」 不詳又は資料のないもの
 - 「x」 該当数値の公表を差し控えたもの
 - 「0」 単位未満の数値
 - 「△」 減少又は負数